
平成 28 年 北海道建築士会 第 1 回青年委員会(web) 報告書

開催日時 : 平成 28 年 4 月 16 日 (土) 14:00~17:00

開催場所 : 事務局会議室 (札幌市中央区大通西 5 丁目 大五ビル 6 階) 及び各自宅

出席者(事務局) : 石塚、丹波、小林、大浦、針ヶ谷常務理事、岡本

出席者(web) : 原、工藤、伊井、渡辺、鈴木、朝倉

≪協議事項≫

1. 全道青年委員会連絡会議の振り返りと建築士の日イベントについて (石塚) 【14:00~14:45】

(1) 連絡会議の振り返り ※事業報告書を作成 (石塚)

(2) 建築士の日イベントについて (別紙参照)

○担当 ◎石塚 (全体統括)、小林 (イベントリーダー)、丹波 (イベントサブリーダー)

○日時 平成 28 年 06 月 18・19 日 (土・日)

○場所 新さっぽろアーキシティ サンピアザ 光の広場

○内容 将来を担う子どもたちに、建築に興味をもっていただくことや、建築士 (会) の PR を目的に「建築のお仕事体験」「建築相談」「建築士会活動のパネル展示」を企画する。お仕事体験した子どもたちには、お給料としてイベント通貨「チーク」を支払い、その「チーク」を使って、会場内の駄菓子屋などで、好きなものと交換して楽しんでいただける。

○検討事項

①メニューをどうするか? (連絡会議で検討した内容の反映)

※仕分けし「理想のお家を描いてみよう」と「折り紙建築」の規模縮小・統合を図る。

(特に「お家を描いてみよう」は現状において、チーク稼ぎに利用されてしまうため。)

※「レゴでまちをつくろう」と「パズルで間取りを考えよう」の規模拡大。

②設計実演に代わる何かをやるか? → 5/18 の準備委員会にて決める。

○役割分担

サンピアザとの窓口 : 石塚、小林

当日の会場指揮 : 小林、丹波

ポスター・PV : 小林

CPD : 丹波

備品担当 : 丹波、岡本

※当日は札幌支部を中心に道央ブロックで手伝ってくれる青年を集める。

札幌支部では 5 月の委員会にて以下の人数を募集予定

土曜午前 A 班 8 : 00~12 : 30 5~6 人

土曜午後 B 班 12 : 30~18 : 00 2~3 人

日曜午前 C 班 9 : 00~13 : 30 2~3 人

日曜午後 D 班 13 : 30~18 : 00 5~6 人

A 班と D 班は搬入・準備と片付けがあるため多めに呼びかけ。

※その他、東西アスファルト協会さんから土日それぞれ 2 人派遣予定。

※道央ブロックには可能な限り協力をお願いする。

(5/18(水)準備委員会を開き、細部を決定する。)

2. 青年建築士の集いについて(大浦)【14:45~15:30】

○担当 ◎大浦、原、鈴木、富良野支部

○日時 平成28年5月21日(土)

○場所 フラノマルシェ2 アトリウム「タマリーバ」(富良野市幸町8番5号) ※協議会・懇親会共

○内容 第1部 とびだせ全国大会へ! 地域実践活動発表選抜選手権

北海道建築士会の各支部青年委員長をはじめとする全道の青年委員参集のもと、北海道各地の青年活動が活性化してきたことをきっかけに、約10年ぶりに地域実践活動発表会を復活させ、全国大会への発表支部を選抜するブロック大会といたします。次代を担う人材の育成や、地域財産の継承、地域住宅の啓蒙への取り組みなど、さまざまな各地実践活動内容を他支部へ、また地域に根ざした建築士として意識向上が図られる場として開催するものであります。

第2部 講演会『オール市民でまちづくり』

講師：西本 伸顕(にしもと のぶあき)様

(ふらのまちづくり株式会社代表取締役社長)

『フラノマルシェの奇跡 小さな街に200万人を呼び込んだ商店街オヤジたち。』の代表著者である西本氏による富良野駅周辺再開発における成功の軌跡の講演会

○タイムテーブル

13:30~14:00(30)	受付開始 (受付2名、会計1名)
14:00~14:05(05)	委員長挨拶
14:05~14:10(05)	会長挨拶
14:10~14:15(05)	運営説明
14:15~15:05(50)	地域実践活動発表 50分(余裕含む) <発表時間 8分 準備2分> 道央ブロック 札幌支部 道南ブロック 函館支部 道北ブロック 名寄支部 道東ブロック 釧路支部

※発表順については司会の鈴木委員の独断により封筒等を用意して発表する。

15:05~15:15(10)	投票 (箱を用意、休憩に行く前に投票を済ませる。)
15:15~15:30(15)	休憩
15:30~16:30(60)	講演会：『オール市民でまちづくり』 講師：西本 伸顕(にしもと のぶあき)様
16:30~16:40(10)	前年度代表者の報告 (後志支部)
16:40~16:45(05)	審査結果発表 推薦状授与 (会長から渡す)
16:45~16:55(10)	総評(針ヶ谷常務理事)
16:55~17:00(05)	閉会 懇親会 案内
17:00~18:30(90)	片付け 懇親会会場設営 (富良野支部にて対応)

18：30～20：30(120) 懇親会

21：00～ 2次会

○協議事項

・実行予算について（別紙参照）

・投票方法をどうするか？

→※投票方法については本部青年委員内でも意見が分かれたため、多数決にて採決。

※評価式：6票 投票式：4票 多数決により評価式に決定。

※参加者全員に評価シートを配布、評価項目は全国大会の仕様に合わせる。

※発表終了後に回収、マクロを組んだエクセルにて集計。

○スケジュール

・CPD申請（4/上旬）完了

・案内文配布（4/18）（石塚）

○役割分担

・司会：鈴木（シナリオは大浦が用意、鈴木が微調整）

・受付：岡本 工藤 渡辺

・撮影：小林

その他当日の細事については富良野支部が担当、適宜手伝いが必要な場合は本部青年が担当。

○その他

・ホテルに送迎のバスを出すため、参加者名簿には宿泊するホテル名を加える。

3. 全道大会（青年サミット）について（渡辺）【15:30～16:00】

○担当 ◎渡辺、朝倉、伊井

○日時 平成28年9月30日（金）

○場所 室蘭建設会館

○内容 「鉄のまち室蘭からものづくりの原点を感じる」

石炭の積出港として発展した室蘭の鉄鋼業の始まりは、1900年代初めに日本製鋼所と現在の新日鉄住金 室蘭製鐵所が設立されたことによります。鉄工業が発展すると同時に街も発展し、人口は昭和45年に16万人のピークをむかえ、その後、他の地方都市と同様に産業の衰退、社会情勢の変化と共に人口も減り、空き家問題、少子高齢化などの問題を抱えます。しかし、優れた技術・技能と人材が集まり、『ものづくり』の街としての歴史は今なお刻まれています。

市ではH14年には開港140年市制施行80年を記念し、21世紀に相応しい『ものづくりのマチ』へ向けて進むことを宣言しています。どんな時代になっても『ものづくり』は、人々の思いや夢をカタチにする大切な役割を担います。

『ものづくり』の現場を体感することにより、我々青年建築士も建築を通して、人々の思いや夢をカタチにする『ものづくり』の原点を感じたいと思います。

○タイムテーブル

12：30 本部青年集合

13：00～13：30 受付

- 13：30～14：00 開会挨拶等、説明、
- 14：00～14：15 バス移動（新日鉄住金構内へ）
- 14：20～16：20 新日鉄住金構内見学（高炉、棒鋼工場）
 - ※2時間は必要
 - ※ヘルメットが必要（新日鉄で用意）バス内でも着用
 - ※写真撮影は禁止。
- 16：20～17：20 室蘭市内見学（絵鞆小学校、白鳥大橋、等）
 - ※小学校は見学出来る状態ではないため、バスにて外側を回って見学。
- 17：25～17：30 総評、閉会挨拶

○協議事項

- ・実行予算について
 - ※講師謝礼と運搬費はカット
 - ※実行予算の目処は室蘭支部の親会と相談。
 - ※3部会（青年・まちづくり・女性）で15～20万程度、現場視察後に話し合っで決まる。
- ・必要備品について
- ・その他
 - ※サミットのテーマとテーマコメントについては石塚委員長がまとめる。
 - ※分科会の実行計画書と合わせて4月中に提出。
 - ※具体的なキーワードを入れた方が良い。（針ヶ谷常務のアドバイス）

4. 全道大会（C分科会）について（工藤）【16:00～16:30】

- 担当 ◎工藤、原、大浦
- 日時 平成28年10月01日（土）
- 場所 室蘭市
- 内容 東日本大震災から5年、被災地の復興が進む今でも各地で台風・大雨・地震・火山噴火などの災害が起きています。北海道も例外ではなく、根室での高潮被害やオホーツク管内で起こった暴風雪も記憶に新しい所です。災害による被害を最小限にとどめるには、災害にどう備えるか・いざという時にどう行動するのかを日頃から考えておくことが大切です。C分科会では、建築士として防災・減災のために、仕事の中で又は地域の中で出来ることは何かを考え、被災した時にどう行動すれば良いかを避難所運営ゲーム（HUG）を通して考えていきます。

○タイムテーブル

- | | |
|-----------------|----------------|
| 12：15～12：30(15) | 受付（受付2名、会計1名） |
| 12：30～12：35(05) | 挨拶・進行説明 |
| 12：35～13：05(30) | 室蘭市の防災への取組みの説明 |
| 13：05～14：10(65) | 避難所運営ゲーム（HUG） |
| 14：10～14：25(15) | 各班発表 |
| 14：25～14：30(05) | 総評・事務連絡 |
| 14：30 | 閉会 |

○協議事項

- ・実行予算について（別紙参照）

・必要備品について

・その他

※HUG1 時間で出来るか。

※女性委員会にノウハウを聞く。

※去年釧路でやった（鈴木） 避難設備が整っていると難易度が簡単になる。

※8/20 第2回青年委員会でやってみる。

※7/26 に女性委員会で北海道版HUGを使う予定。

※24人で1セット必要。

5. その他（石塚）【16:30～17:00】

（1）連合会からの報告（針ヶ谷・工藤）

石塚委員長

※次世代につなげる ターゲットが決まらず。次世代の「ターゲット」についてパネルディスカッションを行う。

その結果、ターゲットは絞らない。内容は大雑把な印象。

※北海道の「お仕事体験」は全国でも注目されている。

全国的に小さい子供達が対象となっている活動は少ない。メインは10代中～後半。

工藤副委員長

※これからのイベントのクオリティを上げるきっかけになった。

針ヶ谷常務理事

※運営側の立場だが、色々と内部でターゲットについてもめて、ポヤっとしてしまった。

（2）新規建築士セミナー×免許証授与式×合格祝賀会の報告（石塚）

※製図課題見学会が大変に好評だった。

（3）会誌原稿について（石塚）

※会誌原稿依頼については、事務局は岡本さんに変わる。

（4）WEB会議を終えて一言

原副委員長

※集いの宿について、相部屋も含めて中富良野・上富良野もありえる。

工藤副委員長

※4/9 マイハシ作りイベントにおいて、東西アス助成金を函館からはじまった話ということを考慮して優遇してほしいに配慮して欲しい。

朝倉委員

※東西アスについては函館きっかけなので配慮を秋吉さんをお願いした。

集いに向けて全国の資料が欲しい。

渡辺委員

※サミットについてどんどん意見が欲しい。

鈴木委員

※4/23 道東ブロック 網走にてやります。

大浦委員

※集いについて、富良野支部も色々やっているが、今回は皆さんの力で成功させたい。

丹波委員 小林委員

※お仕事体験、毎年きてくれる子供達のためにも新しいチャレンジをしたい。

4/23 道央ブロックよろしくお願いします。

針ヶ谷常務理事

※WEB会議は難しいがよく出来たと思う。後は個別に進めていって欲しい。

石塚委員長

※MLについて、皆さんのレスポンスが欲しい。なんでも良いので、どんどん声を上げて欲しい。